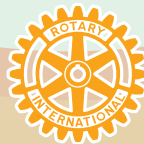


Wakayama Jonan
Rotary Club

Rotary



2024-2025 Club Weekly

No.1644 2024年9月26日(木)

事務所 640-8215 和歌山市橋丁23(N-4ビル2F)
TEL(073)432-1615 FAX(073)423-4002
E-mail: wa.jonan@nifty.com

例会会場 640-8262 和歌山市湊通り丁北2丁目1-2 アパローム紀の国
TEL(073)436-1200

例会日時 毎週木曜日 18時30分～19時30分

会長 堂西誠治 クラブ奉仕 山東秀樹
幹事 岡本昌也 職業奉仕 山本好信
直前会長 東徹 社会奉仕 松本健
会長エレクト 浦口英尚 国際奉仕 前田浩二
副会長 井手良明 S. A. A. 部家安有美
会計 溝上裕章
クラブ会報委員長/東直樹

国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック
第2640地区ガバナー
野村壮吾

2024～2025年度
国際ロータリーのテーマ



◆本日のロータリーソング 四つのテスト

9月 基本的教育と識字率向上月間
ロータリーの友月間

本日のプログラム

★リラックス例会

*アルコールが出ます

*例会後「新会員歓迎会」開催

於:琥珀

次週のプログラム

★～10月 米山月間に因んで～

米山奨学生卓話「私と和歌山」

さい ぎ てい
蔡 宜 庭 様[台湾/和歌山大学経済学部3年
お世話クラブ:和歌山南RC]

●先週の例会記録

令和6年9月19日(木)

- ゲスト紹介 渡辺 勲様
- 出席報告(会員数39名) 出席規定適用免除会員 9名
9月19日 出席24名(内◎7名)
ホームクラブ出席率 64.86%
- 個人寄付 [米山奨学会] 根岸憲一郎会員

会 長 報 告



会長 堂西誠治

皆さまこんばんは。

先週土曜から1泊2日でゴルフ同好会の遠征ゴルフ旅行に総勢17名で行って参りました。残暑真っ只中でのプレーでしたが、楽しい博多の夜と楽しいゴルフとなりました。次は11月22日(金)から2泊3日で友好クラブの千葉港RC40周年となります。参加の皆様は是非楽しみにしておいて下さい。

この後、元県会議員の渡辺勲様の当クラブで13年5か月振り2度目の卓話です。宜しくお願い致します。

●出席率向上の為、下記会場にてメーキャップお願い致します。

RC名	和歌山北	和歌山アセア	和歌山	和歌山西	和歌山東	和歌山東	和歌山南	和歌山中
例会場	ダイワロイネットホテル和歌山	アパローム紀の国	ダイワロイネットホテル和歌山	サンプレストビル2F	アパローム紀の国	ダイワロイネットホテル和歌山	ダイワロイネットホテル和歌山	ダイワロイネットホテル和歌山
曜日	月	月	火	水	水	木	金	金
時間	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30*	12:30	12:30	19:00

※第1・2次は18:30～19:30 第3・4・5次は12:30～13:30

幹 事 報 告



幹事 岡本昌也

- ①次週(26日)は、リラックス例会です。*アルコールがでます
例会後、琥珀で「新会員歓迎会」開催
- ②地区大会の出欠表を今週も回覧します。

③[例会臨時変更のお知らせ]

和歌山北RC…10月28日(月)は、10月26日(土)「秋の日帰り親睦旅行」奈良方面に変更

委 員 会 報 告



■ロータリー情報委員会

(前田浩二委員長)

第1回 I.D.M.(家庭集会)

テーマ: 40周年の記念事業案について(当クラブ40周年創立日: 2028年3月24日)

発表: 10月17日(木)

例会場で 1～4班

開催: 10月10日(木)

例会内テーブルディスカッション

「和歌山大空襲と自然災害」

「和歌山城〈扇の芝〉の再開発」「和歌山の政界あれこれ」



和歌山「21政経フォーラム」代表
元県会議員 渡辺 勲 様

昭和20（1945）年7月9日一和歌山大空襲の日である。和歌山市中心市街地が火の海と化した。27歳の母は背中に3歳の妹、左手に7歳の姉、右手に5歳の僕を引き連れ、激しい空襲の下を逃げ回った。9日午後10時頃、米軍の大型爆撃機B29が250機の大編隊を組み和歌山市上空に飛来、8百トンの焼夷弾を投下した。雨の降るが如き光景が今も脳裏に焼き付いている。米軍のターゲットは軍需工場として砲弾を製造していた当時の扶桑金属工業和歌山工場（旧住友金属工業、現日本製鉄和歌山工場）であった。夜10時頃から始まった空襲は翌10日の明け方まで続いた。

一夜明けた中心市街地は燃え続けていた。紀州五十五万石の象徴である木造の虎伏城は焼け落ち、無残な姿を晒していた。汀公園には四方からの熱風で蒸し焼き状態で死んだ約800体の遺体が放置されていた。地面に倒れ呻いている人や、親を失って泣き叫んでいる幼い子供達、火傷で垂れ下がった皮膚を引きずって歩いている人、道端には焼け死んだ死体が無数に散乱していた。

数日後、ようやくにして罹災者の一時収容場所が決まった。私達一家5人の収容場所は中之島小学校の焼け残った校舎であった。20坪ほどの教室に50～60人が詰め込められた。ケガ人も一緒に収容されているが、医薬品がなく、傷口が腐敗してうじ虫がわき悪臭が漂っていた。そんな数日を過ごした後、それぞれが元の住まいの焼け跡に戻り、バラック小屋を建て、食料探しの日々が始まった。物心のつき始めた5歳で戦火をくぐり抜けた。

昭和22（1947）年、新教育法で制定された六三三制最初の小学1年生の児童になった。町も人の心も破壊され、荒々しい空気が町中に漂っていた。小学生の僕は米占領軍の日本人通訳者に石を投げつけたり、制服を着た他校の生徒にケンカを売りに行ったりと、親も学校の先生も困るほどの腕白少年に育った。不衛生な環境は疫病を蔓延（まんえん）させていた。

昭和20（1945）年8月15日、第二次世界大戦日本敗戦。戦争は終わった。軍国主義から民主主義国家への産声が聞こえてきたが、混乱は続いた。日本丸の羅針盤は何処を指そうとしているのか…。ソビエト連邦を頂点とする地球の東側の社会主義体制か、アメリカを中心とする資本主義・自由経済の西側諸国の一員を目指すのか？

昭和26（1951）年9月8日、米国サンフランシスコに於いて、第二次世界大戦の連合国のアメリカ、イギリスをはじめとする世界47か国と「サンフランシスコ平和条約」が締結されたが、主席全権委員であった吉田茂首相は、連合国の一国であった米国との間に二国

間協定（旧日米安全保障条約）に署名、在日米軍が日本に駐留することを可能にしたのである。

昭和25（1950）年頃までの大部分の人々は食べることに精一杯で、日本の将来に目を向ける人は少なかった。

昭和20年代、30年代は吉田茂、岸信介両氏の総理大臣に反発する社会党や共産党を支持する労働組合や学生団体が中核となって日米安保条約の反対運動が続けられていた。昭和35（1960）年6月15日、全学連と警官隊が衝突、学生の樺美智子さんが死亡する事件が起こった。その3日後には、国会議事堂を囲む大規模デモが強行された。一方、1955年体制と言われる、自由党と民主党の保守合同、左右に分かれていた社会党の統一が成立し、保守か革新かの選択肢が示されていたが、戦後政治の混乱は続いていた。昭和30年代後半に至ってようやく1955年体制と言われた選挙で、保守か革新かの選択が定着し始めたのであったが、昭和20年代の復興途上に降りかかる自然災害が和歌山県の復興を遅らせた。

昭和28年7月17日から翌18日にかけて降り続いた豪雨が和歌山県北部を襲い、死者行方不明者1015人、家屋全壊3209棟、崖崩れ4005か所。有田川、日高川、熊野川等、県内全域の河川の氾濫が起き、県下に甚大な被害をもたらした。

昭和36年には第二室戸台風が猛威をふるい、私の家も全壊し、人生2回目の裸一貫の体験に見舞われた。災害県和歌山という有難くない評価を県外からもらった。

一度破壊された町の復興には長年月と一般市民の協力が何よりも大事だということを戦災と自然災害の体験から学んだ次第である。



～講師の渡辺様を囲んで～
(左から)山名プログラム委員長、山本様、堂西会長、岡本幹事

—— ニコニコ箱 ——

堂西誠治会員…渡辺様 山本様 本日、宜しくお願ひします。 井手良明会員…渡辺先生、2011年4月7日以来の卓話 有難うございます 根岸憲一郎会員…渡辺様卓話ありがとうございます。 河野正文会員…渡辺様今日ありがとうございます 東 直樹会員…渡辺代表よりお願い致します 前田浩二会員…皆様のおかげでコンペ優勝しました。 山東秀樹会員…福岡、お疲れ様でした。東(ひがし)さん、堂西さん御苦労様。 山本好信会員…先日のゴルフツアーお疲れ様でした。 川崎行彦会員…楽しいゴルフツアーでした！ 岡本 浩会員…誕生日のお祝いをいただいて。 岡本昌也会員…渡辺様本日宜しくお願ひ致します。 部家安有美会員…渡辺様本日はよろしくお願ひ致します。

合計¥24,000 累計¥277,000